



くしろ市議会だより



「夏の広尾海岸」久村 朋子さん(武修館高校3年)

議会日程

1月臨時会

1/26

提案説明/委員会審査・採決/委員長報告/本会議採決

2/21

議会運営委員会

2月定例会

(会期22日間)

2/25

市政方針/教育行政方針/提案説明

3/3、4、7

各会派代表質問

3/7~9

質疑・一般質問

3/9

常任委員会審査(補正予算等先議分)

3/10

常任委員会採決(補正予算等先議分) 常任委員会審査

3/11

委員長報告/本会議採決(補正予算等先議分) 常任委員会審査

3/14~16

常任委員会審査

3/15

石炭対策特別委員会

3/17

委員会採決

3/18

委員長報告/討論/本会議採決

正副議長あいさつ

1月臨時会では、22年度の補正予算を原案どおり可決しました。2月定例会では、各会計の新年度予算や、議員提案による釧路市議会基本条例などを原案どおり可決し、監査委員の選任について同意しました。本会議及び委員会では、23年度の財政健全化の推進などについて論議がありました。



議長 二瓶 雄吉
副議長 藤原 厚

市議会基本条例を制定

市議会では、議会の運営や市議会議員の職務・責務等に関する基本的事項を定めた「釧路市議会基本条例」を、2月定例会で可決しました。(23年4月1日施行)
条例の制定に当たっては、議会内部に設置した「議会改革等検討協議会」で協議するとともに、市民の皆さまからの意見を募集しました。

― 釧路市議会基本条例の特徴 ―

- ・二元代表制を明記
- ・市民に対する情報発信と説明責任を果たすことを義務化
- ・市民と情報及び意見を交換する場を多様に設けることを努力義務化
- ・執行部の反問権を付与
- ・委員会における議員相互の自由討議により合意形成を図ることを努力義務化
- ・必要に応じ、議会基本条例を見直すことを規定

私たちは、平成19年5月、釧路市議会の議長・副議長に就任以来、市民に信頼される「わかりやすい開かれた議会」を目指し、議会基本条例の制定をはじめ、議会改革の推進に努め、この間、市政伸展のために市民の代表として真剣に議論をしましりました。在任中、大過なく職責を果たせましたことは、皆さまのご支援のたまものです。

地方分権の進展に伴い、議会の果たすべき役割と議員の責務が一層重要となり、市民の負託に応える議会の実現が強く求められています。

改選後の新議会においても、心を一つにして議会改革と議会活性化の歩みをさらに進められますことを祈念申し上げ、あいさついたします。

公明党議員団

秋田 慎一 議員

財政健全化への市長の決意
市の将来のためやり遂げたい

問 財政健全化推進プランに対する市長の不退転の決意を聞きたい。

答 市民にも大きな負担をお願いしており、失敗は許されないという決意を持って、市の将来に展望を開くためやり遂げたいと考えている。

問 旧土地開発公社と釧路振興公社から帰属される土地売却のため、体制を強化すべきではないか。

答 総合政策部を中心に庁内関係部署連携のもとで、売却を推進するとともに、民間活用による売却促進にも引き続き取り組むたい。

問 釧路コールマインの中期計画最終年次である28年度まで、国の研修事業を継続すべきではないか。

答 道などと緊密に連携し、24年度以降も継続されるよう国に強く訴えていきたい。

問 公共施設管理における[※]ファシリティマネジメントの推進に関し見解を聞きたい。

答 内部に設置した「公共施設見直し作業部会」の中で、公共施設の総合的・長期的観点からのコストと便益の最適化を検討していきたい。

問 阿寒・音別両地区の生活防犯灯について、財政負担の観点からも、計画的にLED化を進めるべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 経費節減の観点から、LED化の促進と維持管理のあり方について課題整理に努めたい。



「LED防犯灯」

問 阿寒川水系と音別川水系の環境調査を今一度行うべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 両水系の自然環境の保全是重要なことであると認識しているが、現時点では総合調査の必要性に関し慎重に検討したいと考えている。

市民連合議員団

渡辺 慶藏 議員

まちづくり基本条例の制定
25年度の施行を目指す

問 まちづくり基本条例の制定に向けて、具体的な検討に入る時期であると考えているが見解を聞きたい。

答 同条例の制度設計など、具体的な内容を検討し、25年度からの条例施行を目指していきたい。

問 財政健全化推進プランに取り組むため、積極的に情報公開し、市民の意見を聞くべきではないか。

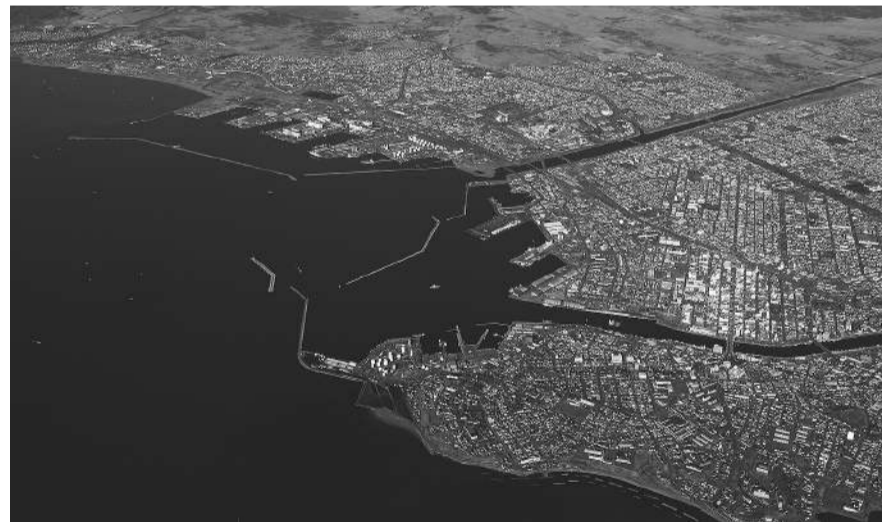
答 機会あるごとに市民との情報共有を図り、財源不足の早期解消に努めていきたい。

問 24年度以降の産炭国石炭産業高度化事業の継続に向け、道と連携し、当市で総決起集会などの行動を早急にすべきではないか。

答 同事業の継続に向けて、オール北海道、オール釧路といった体制で連携して、国など関係機関に対し強力に要請活動を行っていきたい。

問 23年度は、新港湾計画策定の最終年度であるが、具体的な取り組みについて聞きたい。

答 23年7月には釧路港の長期構想を策定し、この構想をもとにおおむね15年程度を目標とした新たな港湾計画として改訂する予定である。



「空から見た釧路港」

問 第5期介護保険事業計画での介護保険料増額の予想に対し、負担軽減に向けた介護給付費準備基金活用についての考えを聞きたい。

答 同計画策定の中で保険料の急激な上昇の緩和を図るため、同基金の活用を検討していきたい。

問 子どもたちの豊かな心・健やかな体がはぐくまれるバランスの取れた教育が行われるよう強く求めるが、見解を聞きたい。

答 各校の実態を踏まえ、具体的な指導助言に努めるとともに、学校のみならず家庭・地域との連携の強化を図っていきたい。

自由新政クラブ

戸田 悟 議員

島防波堤を活用した増養殖事業 試験的活用について国などと協議

問 西港島防波堤を活用した増養殖事業の実現に向けて、有意義な施策を推進すべきではないか。

答 増養殖事業の実施は困難であるが、試験的活用の可能性について国や関係機関と協議する。

問 西港区第5埠頭の整備については、防災岸壁としての機能を持たせ、官民が効率的に使用できるよう考慮すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 通常時や緊急時の利用計画も含め、そのあり方について各関係機関と十分調整、検討、精査し港湾計画の改訂の中で進めていきたい。

問 現実に即した防災訓練の実施に向けて、海上自衛隊との事前協議などを進めるべきではないか。

答 ドクターヘリの参加も含め実践的な訓練を行うため、関係機関と事前協議を進めていきたい。



「防災住民避難訓練のようす」

問 各地域にバランスよく施設を整備し、高齢者を効率的かつ効果的にサポートする地域ブロック体制を構築すべきと考えるが見解を聞きたい。

答 第5期介護保険事業計画策定に係る介護サービス等ニーズ調査の結果を踏まえ、各圏域で偏りのない施設の配置を検討していきたい。

問 障がい者が働き安心して暮らせるための福祉工場設置の取り組みに関し、見解を聞きたい。

答 福祉工場も含めた就労支援事業など障がい者福祉施策については、国の動向を注視し、道や近隣自治体、養護学校等と連携して進めていきたい。

問 (仮称)阿寒湖温泉アイヌシアター建築主体工事が入札不調となり随意契約となったが、公共工事(事業)設計に関する今後の対応を聞きたい。

答 24年度からは実勢価格の調査実施も視野に入れ、適正な設計に努めていきたい。

清風会

黒木 満 議員

住宅リフォーム助成制度 23年度に制度内容を検討へ

問 地域活性化と域内循環の考え方から「住宅リフォーム助成事業」を取り入れるべきではないか。

答 国の社会資本整備総合交付金事業の効果促進事業で示されている項目の中で、特定の行政目的を持った補助制度として検討したい。

問 活力ある水産業をはぐくむための水産物の販路開拓に関し、今後の展望を聞きたい。

答 関係団体との連携・協力を一層密にして、国内外に釧路産水産物の知名度向上を図るとともに、販路開拓の促進に努めていきたい。



「イベントでの物産PR」

問 ※コンパクトシティに向けた、今後の施策について聞きたい。

答 都市機能を集約していく拠点の分析や整理、重点的に取り組む必要のある施策などについて、さらに議論を深めていきたい。

問 ※TPPについての市長の認識を聞きたい。

答 これまで、参加反対や酪農・畜産の経営安定対策の拡充の要請活動を実施してきている。今後も、北海道農業・農村確立連絡会議を中心として、断固反対の立場で取り組んでいきたい。

問 産炭国石炭産業高度化事業は市にとって長期継続すべき重要案件と考えるが見解を示してほしい。

答 研修事業や技術指導による良好な関係が、安定供給とエネルギー資源の確保につながることから、今後も事業が継続されるよう努力していきたい。

問 教育施設をはじめとする公共施設の耐震化が急務であるが、今後の対策について聞きたい。

答 厳しい財政状況ではあるが、市民が安全に、そして安心して施設の利用ができるよう、計画的に耐震診断、耐震改修等を進めていきたい。

日本共産党議員団

村上 和繁 議員

公共事業の進め方
全体的なバランスが重要

問 市営住宅建設と学校耐震化を公共事業の柱として切り替えるべきではないか。

答 全体的なバランスを保ちながら、先を見据えた中で公共事業を進めていくことが重要であると認識している。

問 国保特別会計への政策的繰り入れを22年度並みに確保して、国保料を引き下げられないか。

答 23年度予算では、政策的繰り入れ5,000万円と基金から5,000万円の計1億円を繰り入れるが、さらなる繰入金増額は難しいと考えている。

問 ぬくもり助成金を廃止しないよう強く求める。

答 財政健全化推進プランの事務事業見直しの中で現行制度の維持が難しいと判断し廃止を決定した。

問 住宅リフォーム助成事業を1日も早く実施すべきであると考えますが、前向きな見解を聞きたい。

答 地域経済の活性化に資するものとするが、財源として想定している国の社会資本整備総合交付金事業の中で検討していきたい。

問 岩見沢市の学校給食の食中毒発生を受け、市の考え方について見解を聞きたい。

答 学校給食における衛生管理徹底の必要性を再認識し、食中毒事故の未然防止に万全を期し、今後とも安全安心な学校給食を提供していきたい。



「給食センターでの調理のようす」

問 小中学生のスポーツ施設の使用料値上げは、これを取りやめるか、またはこれまで以上の大幅な軽減措置を設けることはできないか。

答 今回の使用料・手数料の見直しは、財政健全化推進プランに基づき実施するものであり、特定の対象者のみに限定したさらなる軽減措置は適当ではないと考える。

阿寒音別クラブ

本城 洋 議員

音別町行政センターの改築
地元木材の活用を検討

問 音別町行政センターの改築は、旧音別町での改築基金の積み立ても踏まえ、地域の思いや考え方を聞きながら進めてほしい。

答 地域の声や基金の状況を踏まえた上で、地元木材の活用も検討しながら進めていきたい。

問 高齢者を中心としたビジネスの創出が必要と考えるが見解を聞きたい。

答 現行制度を活用した支援のほか、関係機関などとの連携を図りながら高齢者を中心とした起業化に対する支援や相談に応じていきたい。

問 阿寒高校のキャンパス校化決定に伴う、保護者などへの説明会に関する対応を聞きたい。

答 キャンパス校化に向けての具体的内容や詳細スケジュールが固まり次第、説明会を速やかに開催するよう道教委に要望していきたい。



「阿寒高校」

問 ※ TPPによる地域経済への影響についての認識を聞きたい。

答 地域経済の崩壊につながりかねない大きな問題と捉えており、今後とも断固反対の立場で要請活動などに取り組んでいきたい。

問 市として、エゾシカ駆除対策を検討する段階で、被害状況のデータが必要と考えるが、市独自の農林業被害調査を実施しているのか聞きたい。

答 毎年、農協などと連携する中で、市内の被害額及び被害面積を集計し、道に報告している。

問 市の広大な森林資源を有効に活用するため、さらなる森林整備の拡充を推進すべきではないか。

答 釧路森林資源活用円卓会議において、現有の利用可能な人工林資源を有効に活用し、木材の利用拡大に努めていきたい。

予算案の採決に当たり、一般会計、国保特別会計、介護保険特別会計に関し2会派が賛否の討論を行いました。

要旨は次のとおりです。

日本共産党議員団反対要旨

第1に、市民から切実に求められている雇用の施策は、国の緊急雇用施策の枠組みから抜け出せず、指定管理者制度や臨時職員を多用するなどの施策を進めている。第2に、財政健全化推進プランは、高齢者や子育て世代をはじめとする市民に対して、敬老祝い金の廃止、ぬくもり助成金の廃止、及び市独自の保育料軽減が廃止となるのは、家計の負担を重くし、少子化を促進しかねない。また、1年間で福祉部5,124万円、こども保健部7,225万円を削減する同プランは、集中改革プランの約8倍の量とスピードであり、到底容認できない。第3に、前期高齢者交付金が4億8,000万円も増えた結果、一般会計からの繰り入れを1億円から5,000万円に削減したことは、次年度の予算編成で保険料の値上げに直結する恐れがあり、一般会計からの繰り入れは減らすべきではない。第4に、介護保険特別会計の予算は、市民的要望からではなく、国の縛りから抜け出せないものであり、さらなる市の独自施策が求められている。第5に、国直轄公共事業の新西防波堤、島防波堤の港湾工事が続けられ、市民負担を増やしており、生活密着型の公共事業を増やしていく姿勢が見えてこない。以上の理由により反対する。

市民連合議員団賛成要旨

釧路市土地開発公社及び株式会社釧路振興公社の解散に伴う第三セクター等改革推進債と経常的な収支不足に対応するために財政健全化推進プランを策定し、全ての歳入歳出について見直しを行ったのは、財政再生と今後のまちづくりの展望を切り開くための市長の強い責任感の表れである。子どもの健康を守る予防接種への助成や子どもたちの可能性を伸ばすための学力向上への取り組み、特に、学校施設の早期耐震化を図るためのPFI方式による事業導入の可能性調査を実施することは、高く評価する。また、まちづくり基本条例の制定も、具体的な制度設計について検討する方針が表明され、併せて、元気な釧路創造交付金が創設されることは、市民協働のまちづくりをなお一層推進するものである。国保では、一般会計からの繰り入れと国保基金からの取り崩しにより1億円を確保し、中低所得者層の保険料の引き下げを図り、負担軽減に努力している。介護保険では、第5期介護保険事業計画の策定に向け、地域密着型サービスの施設整備などの検討が進められることによる給付費の増加によって保険料の上昇が見込まれるため、基金残高の約5億円を活用し、保険料の抑制を図る方針が表明されている。以上の理由により賛成する。

市政クラブ

土岐 政人 議員

22年度末債務残高の大幅増 土地開発公社の解散などで

問 22年度末の債務残高が、年度当初の見込みを大きく上回ったのはなぜか。

答 主な変動要素は、土地開発公社の解散・清算に伴う第三セクター等改革推進債、同公社所有の用地一括取得に係る公園整備費などの増である。

問 市立幼稚園の運営の効率化に向け、早急な研究・検討を求めるが見解を聞きたい。

答 音別幼稚園と保育園の一体整備により効率化に努めているが、さらなる効率化に向けて関係部署による協議の場を設け、具体的に検討していく。



「幼保一体施設となった音別幼稚園と音別保育園」

問 23年度予算の地方債総括表に、第三セクター等改革推進債の額を計上しない理由は何か。

答 同推進債の発行は、今後、釧路振興公社の解散関連などの議案の提案と同時に補正予算での対応とするため、現時点では総括表に計上されない。

問 23年度の予算規模を「身の丈にあった」とコメントしていたが、市の財政規模をどのように考えているのか。

答 歳入に見合った範囲の中で、市民サービスに必要な事業予算をしっかりと確保することだと考える。

問 小学校給食調理業務の民間委託化についての市長の決意を聞きたい。

答 アウトソーシング推進指針による25年度までの委託化に向け、職員団体との協議の場を設けるなどしっかりと検討を進めていきたい。

問 防災備蓄と資機材の公共施設などへの配備について、23年度新規に計画しているものはあるか。

答 市街地の状況や居住人口等を考慮し、市内14か所に備蓄資機材庫を配置しており、23年度に新たに公共施設などへ配備する計画はない。

本 会

議

質疑・一般質問

3月7～9日 質問者 11人

〈阿音ク 曾我部元親 議員〉

問 阿寒地区の特別養護老人ホームに、阿寒本町地区への移転・増床計画があると聞いているが市の見解を聞きたい。

答 増床については、第5期介護保険事業計画策定の中で23年度に検討されることとなるが、移転に関しては、入居者がより安心して暮らせ、二層の医療との連携や家族の利便性が高まると考えられる。



「阿寒地区特別養護老人ホーム」

〈清風会 菅野 猛 議員〉

問 合併により使用可能となった財源と、その財源で実施した事業に関し、地域別の比較ができる資料を住民に示すべきと考えられるがどうか。

答 各地域にとって必要な事業の実施状況を示すべきと考えており、

22年5月に作成した「合併後のまちづくりの現況」により各事業の進捗状況を説明しているものである。

〈共産党 梅津則行 議員〉

問 業務委託契約による外国語指導助手ではチームティーチングが実施できないため、直接雇用を進めるべきと考えるが見解を聞きたい。

答 民間業者との業務委託契約による外国語指導助手の派遣を見直し、23年度からは直接雇用を3名から4名に増員して指導体制の充実に努めていくこととしている。

〈自新ク 西 直行 議員〉

問 今日の教育の現状と課題をどのように捉えているのか見解を聞きたい。

答 回復傾向がみられるとはいえ、国際的に見た日本の子どもたちの学力向上は大きな課題となっている。また今日の変化の激しい社会に対応するために、「知・徳・体」の調和のとれた育成が求められているものと認識している。

〈公明 逢坂和子 議員〉

問 働く世代への大腸がん検診推進事業は検診の重要性や方法を周知し精密検査につなげることで早期発見、早期治療を図るものだが、市として導入を検討しているのか。

答 同事業は現在国で検討中であり、今後詳細が明らかになれば、市としても精密検査につなげる体制の構築が可能かどうかを踏まえながら、導入に向けて検討していきたい。

〈市民連 宮田 団 議員〉

問 災害時要援護者支援の今後の全市展開へ向けての取り組みについて聞きたい。

答 町内会をはじめとする関係団体に対し、災害時要援護者安否確認・避難支援事業の説明や、同事業への協力依頼を行い、相談があった際には職員が赴き説明を行うなど、積極的に全市展開に向けての取り組みを進めていきたい。

〈無所属 草島守之 議員〉

問 既存の大きなイベントだけでなく、将来に向けて有望な行事を作り上げ、規模を大きくするよう育てていくべきではないか。

答 若者の自発性、創意にあふれた行動に負うところが大きいものであり、このようなまちづくりの

主役となる市民の行動を支援しながら、参加の拡大を図っていくことが重要と考える。



「くしろチューリップ&花フェア」

〈無所属 二瓶雄吉 議員〉

問 水産業の今後に向け、水産再生計画を策定し、市民に語りかけるべきではないか。

答 釧路水産協会が作成した、市民産業としての発展の方向を示した「釧路市水産業発展ビジョン策定調査報告書」の内容を精査し、関係者と意見交換の場を設け、「再生計画」の必要性を含め、水産業の振興策を検討していきたい。

〈市民連 藤原勝子 議員〉

問 出生率の低下を抑制するためにも、男性の取得促進も含め育児休業制度の普及に努めるべきではないか。

ないか。

答 市としても子育て支援の観点から、国が作成したリーフレットの配布をはじめホームページや広報などさまざまな機会を捉え市民や企業への周知・啓発に努めており、今後とも継続して取り組みたい。

〈共産党 石川明美 議員〉

問 TPPは、農業や水産業だけでなく、他産業とりわけ医療と建設業にも深刻な影響があると考え、市の認識を聞きたい。

答 基幹産業である農業・漁業など第一次産業への影響だけでも地域経済にとって大きな問題と捉えており、今後もTPPには断固反対の立場でしっかり取り組んでいきたい。

〈市民連 千葉光雄 議員〉

問 釧路町との水道給水区域化に向けた市の基本姿勢と協議の状況について聞きたい。

答 基本姿勢は「市民の新たな負担となる給水区域化編入は認められない」ことで臨んできた。また、25年度の給水区域化実現には、22年度中をめどに釧路町との協議を終了すべく進めてきたが、現在も同協議は継続中である。

委員会審査

4常任委・1特別委

3月9～11・14～17日

民生福祉常任委員会

保育園の育児休業中の入所 今後のあり方について検討

市内の保育園では、育児休業中の母親が出産から4か月を過ぎると上の子は退所しなくてはならない。しかし、「児童の発達上、環境の変化が好ましくないと思料される場合は継続入所も差し支えない」とする国の通知や、札幌市が継続入所期間を1年間としたことを踏まえ、当市でも改善を図っていくべきではないかとの質問がありました。

理事者は、現在3歳以上の障がい児を対象に継続入所を認めているが、育児休業中の兄弟入所の対応については全ての保育園と協議を始めたところである。今後、この協議を踏まえながら現行体制の中で、そのあり方について検討していきたいと答えました。

総務文教常任委員会

海上自衛隊との防災訓練 ドクターヘリなどと連携

海上自衛隊が参加する防災訓練を



「避難住民をのせたLCAC(エルキャック)」

23年度も実施する予定とのことだが、訓練内容などを詳しく教えてほしいとの質疑がありました。
理事者は、大規模災害発生時における国や道と連携した災害対応を想定して実施する防災訓練である。22年度の大規模津波防災総合訓練で実施した海上自衛隊の輸送艦とLCAC(エルキャック)を使った住民避難訓練に加え、昨年、悪天候で実施できなかったドクターヘリと輸送艦が連携した緊急医療搬送訓練など、より実践的な訓練を行う予定であると答えました。

石炭対策特別委員会

産炭国石炭産業高度化事業 24年度以降の方向性を

24年度以降の産炭国石炭産業高度化事業の方向性についてどう考えているかとの質問がありました。

理事者は、「石炭産業と釧路地域の振興に関する懇談会」の中でも議論が深まっていくことを期待している。したがって、同事業が国益にかなった事業であることを前面に出し、新しい要素をどう加えていくかを考えながら、関係者とともに国に働き掛けていきたいと答えました。

建設常任委員会

愛国浄水場更新 専門的技術者を育成

愛国浄水場の更新に係る発注方式について、6方式ある委託方法の中で、その調査を請け負っていたコンサルタントから、DBO方式を高く評価する結果が示された。いずれの方式に決まっても、行政として、常に委託内容をチェックできる専門



「愛国浄水場」

的技術者を育てていくべきではないかとの質問がありました。
市長は、長期間、民間委託する場合においても、市民に対し、安心・安全な水を供給していくことは市の責務であることから、業務内容を細部までチェックできる水道技術者の育成や確保を、継続して行っていく必要があると答えました。

財政経済常任委員会

釧路市フィットネスセンター 今後を見通し存廃を検討

釧路市フィットネスセンターの今後について、廃止ということではな

く、現在の利用実態を踏まえ、存続させていくために努力することが重要ではないかとの質問がありました。
理事者は、指定管理者において、これまでもさまざまな営業努力をしてきていると捉えている。また庁内の検討会議では、現行施設維持の可能性についても議論している。廃止ありきということではないが、同センターは建設後21年を経過しており、施設維持、機能存続の可否については、今後10年、20年先を見通しながらしっかりと判断をしなければならぬと考えていると答えました。

議会を傍聴しませんか

市政について知る良い機会です。市議会がどのように会議を行っているか、傍聴してみませんか。

個人・各種団体・サークルなどで、ぜひお越しください。

次回の6月定例会は、6月1日(水)午前10時から開会の予定です。



平成23年 第1回 1月臨時会審議結果		○賛成 ×反対									
件名	会派名〔()内は議員数〕 または無所属議員名	市民連合議員団(6)	公明党議員団(5)	清風会(5)	自由新政クラブ(4)	阿寒音別クラブ(4)	日本共産党議員団(3)	市政クラブ(2)	藤原厚議員	草島守之議員	審議結果
		市長提出議案									
予算	22年度補正 一般会計(273,068千円、総額104,824,331千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	今後の保育制度に関する意見書の件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	取下げ

平成23年 第2回 2月定例会審議結果		○賛成 ×反対 △継続審査									
件名	会派名〔()内は議員数〕 または無所属議員名	市民連合議員団(6)	公明党議員団(5)	清風会(4)	阿寒音別クラブ(4)	日本共産党議員団(2)	自由新政クラブ(3)	市政クラブ(2)	藤原厚議員	草島守之議員	審議結果
		市長提出議案									
予算	23年度 国民健康保険音別診療所事業特別会計(343,898千円)／農業用簡易水道事業特別会計(20,377千円)／病院事業会計／水道事業会計／工業用水道事業会計／公設地方卸売市場事業会計／市設魚揚場事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計(95,400,000千円)／国民健康保険特別会計(20,317,369千円)／後期高齢者医療特別会計(1,927,519千円)／介護保険特別会計(保険事業勘定11,654,424千円、介護サービス事業勘定109,499千円)／駐車場事業特別会計(188,455千円)／動物園事業特別会計(342,448千円)／下水道事業会計／港湾整備事業会計	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	22年度補正 国民健康保険特別会計(659,252千円、総額20,092,253千円)／介護保険特別会計／駐車場事業特別会計／動物園事業特別会計(3,756千円、総額388,995千円)／病院事業会計／水道事業会計／下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計(2,684,255千円、総額107,508,586千円)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
条例	制定 特別職の職員の給与に関する条例等の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	長寿祝品贈呈条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	一部改正 事務分掌条例／基金条例／特別会計条例／保育に関する条例／生活館等条例／国民健康保険条例／介護保険条例／病院事業の設置等に関する条例／企業立地促進条例／農業用水道条例／建築物における駐車施設の附置等に関する条例／港湾環境整備施設条例／消防団に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	財政健全化推進プランによる使用料、手数料等の見直しに伴う関係条例／職員定数条例／職員の給与に関する条例等／都市公園条例等／港湾施設管理条例／動物園条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	廃止 市設魚揚場施設災害復旧事業分担金条例／港湾施設災害復旧事業分担金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産	機器等取得 行政情報システム(住民記録、税・収納)用サーバ機器等(45,517,500円)／行政情報システム(共通基盤)用サーバ機器等(22,333,500円)／行政情報システム(住民記録、税・収納、共通基盤)用パーソナルコンピュータ(29,893,500円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
契約	工事請負 (仮称)阿寒湖温泉アイヌシアター建築主体工事(224,833,350円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	選任 監査委員の選任について同意を求める件(楡金達朗氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	推薦 人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件(小野武氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	権利の放棄の件(市が土地開発公社へ貸し付けた22年度の短期貸付資金債権の放棄)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案											
条例	制定 議会基本条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一部改正 議会委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書	子宮頸がん予防ワクチンの供給不足に伴う救済措置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	交通運輸行政の安全の充実を求める意見書	○	×	○	×	○	×	○	○	○	可決
議長付議議案											
人事	辞職 笠井龍司議員の議員辞職の件／山崎晃議員の議員辞職の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	許可
	選任 常任委員の所属変更の件(高橋一彦議員の所属を建設常任委員会へ変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	完了
	互選 釧路公立大学事務組合議会補欠議員互選の件(西直行議員)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	完了
陳情	「子ども・子育て新システム」の慎重な検討を求める意見書の件	△	△	×	△	○	△	△	△	△	審議未了

※ 現在、無所属議員は3名ですが、二瓶議長は採決に加わっていないため、2名の氏名のみ記載しています。
 ※ 日本共産党議員団は、22年度補正予算と財産取得の各議案は3名で採決、それ以外の議案については欠席により1名採決に加わっていないため2名で表記しています。



現構成委員としては、最後の「議会だより」となりました。市民の皆さまのご愛読に感謝いたします。
 ◎宮田 団 ○秋田 慎一 菅野 猛
 本城 洋 土岐政人 西 直行
 村上和繁(◎委員長 ○副委員長)

議会広報特別委員会から
 市議会ホームページをご覧ください
 市議会ホームページでは、市議会からのお知らせや各種情報などを掲載しております。
 ただいま、インターネット上で2月定例会本会議の様相を録画公開しています。また定例会中は、本会議での質疑・一般質問等の模様をライブでご覧いただけます。
 ※これまで各公共施設などでご覧いただいていたケーブルテレビでの放送は、3月末をもって終了させていただきます。